



Kenko **NEW *Sky Explorer***

SE120L

取扱説明書



はじめに

この度は、ケンコー「NEW スカイエクスプローラーシリーズ」をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。お使いの前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管願います。

● 安全上のご注意 ー必ずお読みくださいー

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。本製品を正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。



警告

この指示にしたがわないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



- ・望遠鏡で太陽を絶対に見ないでください。失明や永久視力障害の原因となります。



注意

この指示にしたがわないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

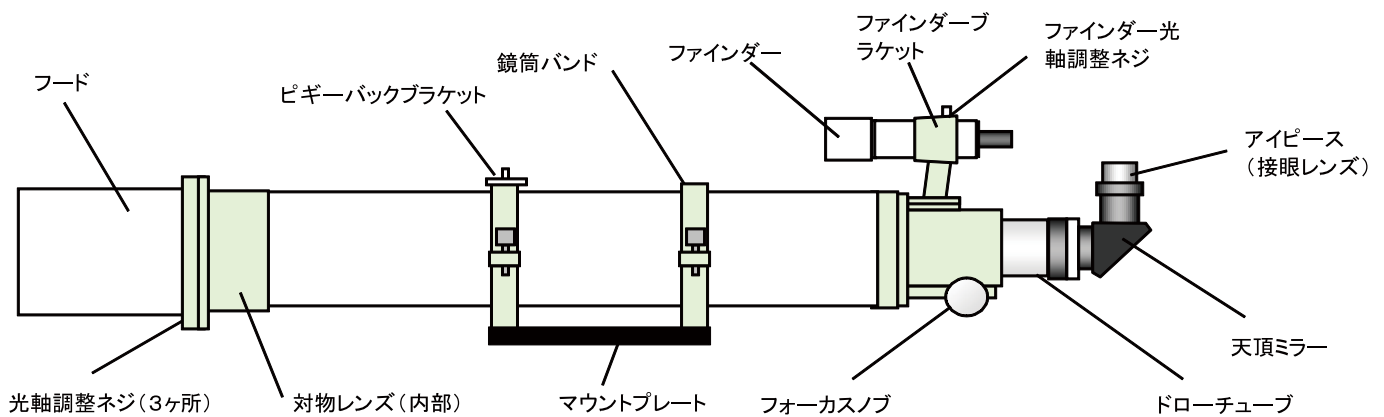
- ・取扱説明書を必ずよくお読みください。
- ・望遠鏡を落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- ・望遠鏡を不安定な所に置かないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。
- ・望遠鏡を直射日光のあたるところに置かないでください。火災の原因になることがあります。
- ・歩行中に望遠鏡を使用しないでください。衝突、転倒し、けがの原因となる場合があります。
- ・接眼レンズのゴム製見口を長時間使用しますと、皮膚に炎症を起こすことがあります。もし疑わしい状態があらわれたらただちに医師に御相談ください。
- ・キャップなどを、小さなお子様があやまって飲むことがないようにしてください。万一お子様が飲みこんだ場合、ただちに医師に相談してください。
- ・ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。
- ・望遠鏡を架台に取付ける際には、架台の固定ネジを回してしっかりと固定してください。転倒、落下などの危険があります。

- ・本書はケンコー「NEW スカイエクスプローラー SE120L」の取扱説明書です。本書に記載のイラストは説明のためのものであり、一部形状などが異なる場合があります。
- ・本書に記載された商品の仕様、デザイン、その他の内容については改良のため予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法にしたがってご使用願います。特に「安全上のご注意」に記載された内容につきましては厳守してください。
- ・本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お手数ですがご連絡ください。
- ・本製品の不適切な使用により、万一損害が生じたり、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任は負いかねますのでご了承ください。

セット内容

- ・鏡筒
(フード, 対物キャップ, 接眼アダプター付属)
- ・鏡筒バンド
(マウントプレート付属)
- ・ファインダーブラケット
- ・9 x 50ファインダー
- ・2インチ天頂ミラー (31.7mm アダプター付属)
- ・プロセル25mm接眼レンズ (31.7mm)
- ・プロセル10mm接眼レンズ (31.7mm)

各部の名称



イラストのため、一部実物と異なります。

製品仕様

対物レンズ有効径	: 120mm (アクロマート)	付属接眼レンズ	: プロセル 25mm
対物レンズ焦点距離	: 1,000mm		: プロセル 10mm
口径比	: 1 : 8.3	その他付属品	: 2インチ天頂ミラー
集光力	: 293.88 倍		(31.7mm アダプター付属)
分解能	: 0.97 秒		鏡筒バンド
極限等級	: 12.17 等星		(マウントプレート, ピギーバック ブラケット付属)
接眼アダプター径	: 31.7mm		
	50.8mm		
ファインダー	: 9 x 50mm		
	(実視界 4.8°)		

望遠鏡の組み立て

1, フードの取り付け

- 1) 鏡筒後部にはめてあるフードを注意深く外します。
- 2) つぎに対物レンズにかぶせてあるキャップを外し、フードを取り付けます。

2, ファインダーの取り付け

- 1) ファインダーブラケットから O リングを注意して取り外し、その O リングをファインダーに通し、溝にはめ込みます (Fig.1)。
- 2) つぎにファインダーブラケットを鏡筒の台座に取り付け、ネジでしっかりと固定します (Fig.2)。
- 3) ファインダーをファインダーブラケットの穴に入れ、O リングがファインダーブラケットに入るようにスライドさせます (Fig.3)。この際にブラケットにある 2 つの光軸調整ネジを緩めておくと、スムーズに取り付けができます。
- 4) 観測の前には必ずファインダーの光軸調整を行なってください。

Fig.1



Fig.2

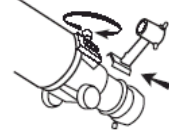
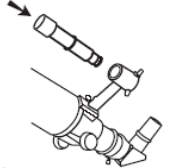


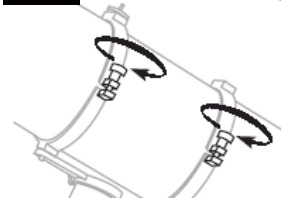
Fig.3



3, 鏡筒バンドの取り付け

- 1) 鏡筒バンドの 2 つのリングの中心に鏡筒の重心がくるように、鏡筒を置きます。
- 2) ヒンジを閉め、ネジを締めて固定します (Fig.4)。

Fig.4



◎ご注意◎

鏡筒バンドは出荷時に既に取り付けられていますが、ご使用前に鏡筒バンドを一度外し、鏡筒の保護紙を取り外してからお使いください。

4, 接眼レンズの取り付け

- 1) 出荷時には、接眼部に 50.8mm 接眼アダプターが取り付けられています (Fig.5)。
- 2) 2 インチ天頂ミラーを 50.8mm 接眼アダプターに差込み、☆印のネジを締めて固定します。
- 3) 2 インチ天頂ミラーに接眼レンズを差込み、ネジで固定します (Fig.6)。

Fig.5

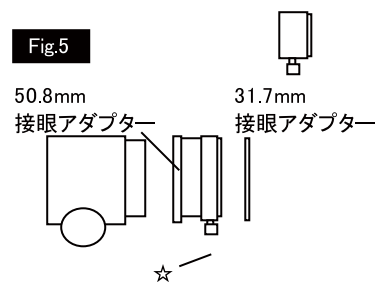
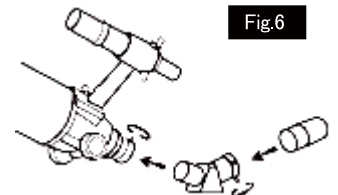


Fig.6



◎ご注意◎

- ・この望遠鏡にそのまま接眼レンズを取り付けた場合 (直視) には合焦しません。必ず天頂ミラーや天頂プリズムを併用してください。
- ・31.7mm の天頂ミラーなどをお使いの際には 31.7mm 接眼アダプターを取り付けた状態でお使いください (Fig.5)。

ファインダーの調整

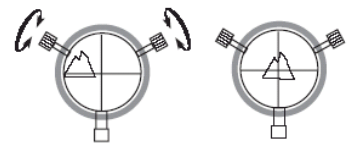
ファインダーは目標の対象物を視野に素早く導入するために大変便利なアクセサリーですが、使用前に調整を行なうことが必要です。以下の手順に従って、調整を行なってください。

- 1) 調整は日中に行ないます。まず、ファインダーを覗いてできるだけ遠くを見てください。ピントが合っていない場合には、対物セルを回してピントを合わせてください。ピントが合ったら、黒色の固定リングを回して固定してください (Fig.7)。
- 2) 1 km以上離れた対象物 (建物や鉄塔、煙突など) を選び、望遠鏡の視野の中心にその対象物を捉えます。
- 3) つぎにファインダーを覗いて、対象物が十字線の真ん中に来ているかどうか確認します。
- 4) ほとんどの場合は視野のどちらかにズレた状態ですので、2つの光軸調整ネジを回して対象物が視野の中心にくるように調整してください (Fig.8)。

Fig.7



Fig.8



観測

望遠鏡の重さに十分耐える架台に望遠鏡を載せてください。ファインダーを使用して観測対象を視野に導入します (事前にファインダーの光軸調整を行なってください)。つぎにフォーカスノブをまわしてピントを合わせてください。

望遠鏡内部と外気の温度差がある場合、筒内気流が発生して望遠鏡の性能を最大限にいかすことができません。観測の前に十分に外気に慣らしてからお使いください。

写真撮影について

31.7mm 接眼アダプターには M42/P=0.75 のネジがきつてありますので、T マウント (別売) を取り付けることができます。これにより、一眼レフカメラを取り付けることが可能です (Fig.9)。

◎ご注意◎

カメラを取り付けた場合にはフリクション調整ネジを締めて、ドローチューブが伸びてピントがズレることがないようにご注意ください。また、接眼部へ負担が大きいような重いカメラの取り付けはしないでください。

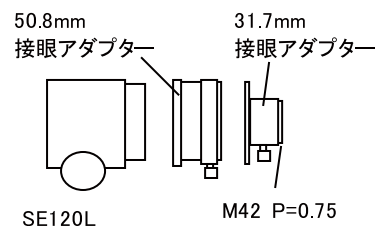
ピギーバックブラケット

鏡筒バンドにはピギーバックブラケットが付いていますので、自由雲台を介してカメラを同架することが可能です。星野写真の撮影に最適です。

◎ご注意◎

カメラを望遠鏡に取り付ける場合は、しっかりとカメラが固定されているかを必ず確認してください。また、耐荷重量が十分な架台を使用し、バランスにも十分にご確認ください。

Fig.9



光軸調整について

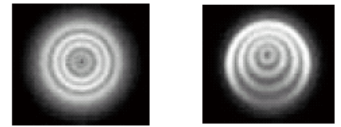
この望遠鏡のレンズセルには光軸調整ネジが付いています。しかしながら、光軸調整には熟練を要しますので、ベテランの方以外にご自身での光軸調整はおすすめいたしません。

通常のご使用で光軸がずれることはありませんが、衝撃などにより万一光軸調整が必要な場合は、販売店もしくは弊社営業所・出張所へご連絡ください。

尚、望遠鏡の光軸が合っているかどうかは、ピントが合っていない状態での星像を見ることで分かります。以下の要領でご確認ください。

- 1) 明るい星を望遠鏡の視野の中央に捉えます。
- 2) 星像が少しぼやける程度にフォーカスノブをまわします。
- 3) このとき、シーイングの状態が良ければ、いくつものリングに囲まれた光の円を見ることができます。
- 4) 光の円の同心円が対称形である場合、望遠鏡の光軸は合っていますので調整の必要はありません。非対称である場合には光軸が合っていないので、光軸の調整が必要です (Fig.10)。

Fig.10



光軸が合った状態 光軸がズレた状態

望遠鏡のお手入れ

望遠鏡は精密機械です。ほこり、湿気、塩分、熱、衝撃などは大敵です。保管にあたっては以下の事項に気を付けて大切に扱ってください。

- ・使用後は必ず鏡筒にキャップをしてください。
- ・望遠鏡は寒暖の差が小さく、風通しの良い場所に保管してください。湿気があるとカビが発生する原因となります。
- ・レンズにほこりが付いたら拭き取らずに、エアダスターで吹き飛ばしてください。
- ・レンズに指紋や汚れが付いたときには市販のクリーニング液とクリーニングペーパーで軽く丁寧に拭き取ってください。
- ・レンズは特に精密に調整されていますので、決してご自身で分解をしての清掃を行なうことはしないでください。

◎ご注意◎

レンズは大変に傷つきやすいので、特に必要の無い場合にはなるべく拭かないでください。



Kenko Tokina Co., Ltd.

株式会社 **ケンコー・トキナー**

<http://www.kenko-tokina.co.jp/>

本 社 / 〒161-8570 東京都新宿区西落合 3-9-19

■国内営業部 東京営業所 TEL 03-5982-1060 (代) ■広域販売部 東日本営業所 TEL03-5982-1068 (代)

大阪営業所 / 〒540-0005 大阪市中央区上町 1-2-13

■国内営業部 大阪営業所 TEL 06-6767-2640 (代) ■広域販売部 西日本営業所 TEL 06-6767-2652 (代)

札幌出張所 〒060-0042 札幌市中央区大通西 15 丁目 1-11 (北日ビル第二大通り 405 号) TEL 011-613-2176 (代)

仙台出張所 〒980-0011 仙台市青葉区上杉 3-3-21 (上杉 NS ビル 2F) TEL 022-211-0180 (代)

名古屋出張所 〒460-0008 名古屋市中区栄 1-15-6 (サカエミヤシタビル 1F) TEL 052-232-3331 (代)

福岡出張所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 3-12-3 (玉井親和ビル 1-H) TEL 092-476-5071 (代)